

研究課題名	妊娠中の免疫性血小板減少症に対する免疫グロブリン大量療法の有効性についての検討
研究の意義・目的	免疫性血小板減少症（ITP）合併妊娠において、血小板減少時の標準治療である免疫グロブリン大量療法について、今まで当院で出産された ITP 合併妊娠の方の診療情報を用いてその有用性（血小板の増加の程度、出血量、新生児の合併症など）を検討することが目的です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～2025年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2011年1月から2022年12月の間に大阪公立大学医学部附属病院の女性診療科で、ITP 合併妊娠のため当院で周産期管理及び分娩を行った方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【年齢、BMI（ボディ・マス・インデックス）、妊娠出産歴、分娩週数、診断名、合併症、血小板数、免疫グロブリン使用の有無、免疫グロブリン使用例においての血小板増加数、出生体重、新生児の血小板数 血小板輸血の有無】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行い、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院女性診療科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 研究責任者 北田 紘平
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性生涯医学 （担当者氏名）北田 紘平 電話番号：06-6645-3862 メールアドレス：kkitada@omu.ac.jp